【様式1】産業廃棄物・特別管理産業廃棄物処理実績報告

※枚数が不足する場合
（紙の場合）コピーして使用してください。　（Excelの場合）行を挿入してく

記入例

令和7年度の産業廃棄物および特別管理産業廃棄物の処理実績について、次のとおり報告します。

報告者（会社名等）	○○株式会社	電話番号	0776－00－0000	記入担当者	○○○○○○

「1次処理」欄には、報告者がR7年度中に処分した総処分実績を記入してください。
【注】報告者が中間処理と最終処分（再生）の両方を行った場合には、中間処理を「1次処理」欄に、最終処分（再生）を「2次処理」欄に記入してください。

「2次処理」欄は、中間処理産業廃棄物の処理実績について記入してください。（⑦が中間処理の場合のみ）

1次処理									2次処理（⑦が中間処理の場合）						
①産業廃棄物コード（自動入力）	②産業廃棄物	③排出事業者の区分	④排出事業場所在地	⑤排出事業場所在地	⑥処分量（単位:トン）	⑦処分方法の分類コード	⑧処分方法コード	⑨処分方法	⑩中間処理産業廃棄物の処分方法の分類コード	⑪中間処理産業廃棄物の処理方法コード	⑫中間処理産業廃棄物の処理委託先所在地コード（自動入力）	⑬中間処理産業廃棄物を処分する事業場の所在する都道府県コード	⑭中間処理産業廃棄物の処分方法コード	⑮中間処理産業廃棄物の処分方法コード（自動入力）	⑯中間処理産業廃棄物の処分方法
0600	廃プラスチック類	事業者	18	福井県	100	中間処理	204	焼却	10	委託処理	17	石川県	最終処分	303	管理型埋立

別紙「各コード一覧」の「廃棄物の種類」から記入してください。

本社の住所ではなく、排出事業場が所在する都道府県を記入してください。
また、所在地が「福井県」以外である場合は、【様式2】に排出事業場ごとの内訳を記載してください。

別紙「各コード一覧」の「処分方法」から記入してください。

「自社処理」、「委託処理」のいずれかを記入してください。

中間処理産業廃棄物を処分事業場が所在する都道府県を記入してください。

自動入力されます。（紙で提出する場合記入不要）

「事業者」または「中間処理業者」のいずれかを記入してください。

自動入力されます。（紙で提出する場合記入不要）

自動入力されます（紙で提出する場合記入不要）

自動入力されます。（紙で提出する場合記入不要）

自動入力されます。（紙で提出する場合記入不要）

（備考）　○○○○…

補足事項等があれば、適宜、欄外等に記入してください。

830 ㎥ × 0．55（木くずの重量換算係数）＝ 457トン（小数点以下は四捨五入）

委託を受けて処分した量（令和7年度実績）を、単位:トンで記入してください。
（小数点以下は四捨五入）

単位の換算が必要な場合は、別紙「各コード一覧」に記載の「換算係数（t／㎥）」を参考に、換算した上で記入してください。

「再生」、「中間処理」、「最終処分」のいずれかを記入してください。

【注】⑨の処分により廃棄物を卒業し、売却等したものについては、⑦は「再生」としてください。

⑨の処理後の産業廃棄物の量（令和7年度実績）を、単位:トンで記入してください。
（小数点以下は四捨五入）

単位の換算が必要な場合は、別紙「各コード一覧」に記載の「換算係数（t／㎥）」を参考に、換算した上で記入してください。

「再生」、「中間処理」、「最終処分」のいずれかを記入してください。

【注1】⑯の処分により廃棄物を卒業し、売却等されるものについては、⑭は「再生」としてください。
【注2】処分事業場で数次の処分が行われる場合は、その最終的な処分方法の分類を記入してください。

別紙「各コード一覧」の「処分方法」から記入してください。

【注】処分事業場で数次の処分が行われる場合は、その最終的な処分方法を記入してください。

記入例①　県内の建設業者から排出された木くず830㎥（立米）を焼却処理し、焼却後の燃え殻46トンを、石川県の管理型埋立許可業者を委託した場合

0800	木くず	事業者	18	福井県	457	中間処理	204	焼却	46	委託処理	17	石川県	最終処分	303	管理型埋立

記入例②　県内の製造業者から排出された廃プラスチック類200トンを破砕し、県内の産業廃棄物処分業者に圧縮・固化を委託し、固形燃料化した場合

0600	廃プラスチック類	事業者	18	福井県	200	中間処理	207	破砕	200	委託処理	18	福井県	再生	104	燃料化

記入例③　県内の建設業者から排出されたがれき類4，000トンを破砕し、再生砕石（RC－40）として売却した場合

1500	がれき類（工作物の新築、改築又は撤去に伴って生じた不要物）	事業者	18	福井県	4,000	再生	106	その他再生							

記入例④　富山県の建設現場で発生したがれき類150トン（重量の0．1%を超える石綿を含有）を、安定型最終処分場に埋立てした場合

2440	【石綿含有】がれき類	事業者	16	富山県	150	最終処分	302	安定型埋立							

記入例⑤　滋賀県の産業廃棄物処分業者が中間処理（脱水）した、基準値を超える有害物質を含む汚泥3，000トンをセメント原料として使用した場合

7426	汚泥（基準値を超える有害物質を含むもの）	中間処理業者	25	滋賀県	3,000	再生	103	原材料化							